これからの100年に向け、ワンチーム(One Team) となって取り組んでいきます

1924年の創業以来100年にわたり、成長する産業が求めるニーズに応え、

さらに、新たな素材にいち早く注目し製品化することで、持続可能で豊かな社会の実現に貢献してきました。 これからも固有の流体制御技術を進化させながら、

独創的で高品質な製品・サービスを提供していきます。

1920~

創業~生産体制の確立

創業者の岩波嘉重が、耐摩耗性の高い船舶用筒型パッキンの開発に成功。 1924年、個人経営の「ピラーパッキン工場」をスタートさせました。1926年 に工業用漏れ止めパッキンの本格的な生産を開始。1932年には自動車用 及び船舶内燃機用のガスケットの生産を開始しました。1948年に「日本ピ ラー工業株式会社」を設立し、1951年に日本初のメカニカルシール(軸封 装置)を開発し生産を開始します。1967年には、兵庫県三田市に三田工場 が竣工しました。

- 1924 現在の神戸市灘区で 日本ピラー工業所を設立
- 1926 大阪市淀川区に工場を新設し、工 業用漏れ止めパッキンの本格的 生産を開始
- 1930 ピラーパッキンが当社初の実用 新案特許登録
- 1932 ガスケットの生産を開始
- 日本ピラー工業株式会社設立 1948
- 1951 日本初のメカニカルシール(軸封 装置)を開発、生産開始
- 1952 ふっ素樹脂製品(商品名ピラフロ ン)の生産を開始
- 三田工場竣工。業界初のJIS・B・ 2404配管用うず巻形ガスケット JIS認定工場に
- 1970 新素材「炭化繊維」を開発、生産
- 1974 創業50周年





日本初のメカニカル シールを開発、生産開始



1980~

ブランド確立、世界進出へ

1980年に本社社屋を新築竣工し、翌年ISOシ リーズメカニカルシールの生産を開始。時代 のニーズに応じた新製品を次々と開発し、半導 体製造装置向けふっ素樹脂の継手や膨張黒鉛 編組パッキンの生産を立て続けに開始しました。 1995年、ISO認証を取得し、顧客に信頼される ブランドを確立しました。

- 本社社屋を新築竣工
- 1984 大阪証券取引所市場第二部特別指定
- 1989 福知山工場(現福知山事業所)竣工
- 大阪証券取引所市場第二部に 指定替え



ISOシリーズ 攪拌機田 メカニカルシールの



京都府福知山市に福知山工場 (現福知山事業所第1工場)竣工

2000~

現在の躍進につながる新事業の創出

2002年に世界初の画期的なシール機構「スーパー300タイプ ピラーフィッティング」を、翌年にはノンアスベスト化への早期 切り替えに寄与する[#2603-EEEテクノブラック]の生産を開 始。2012年から、半導体市場向け新型ロータリージョイントの 生産を開始しています。

- 2001 東京証券取引所及び大阪証券取引所市場第一部に上場
- 2004 熊本県合志市に九州工場竣工
- 半導体市場向け新型ロータリージョイントの生産開始
- 大阪市西区に本社を移転 2017



世界初の画期的な シール機構を実現した 「スーパー300タイプピラー フィッティング」の生産を開始



熊本県合志市に九州工場竣工 (2004年)



2020~

Toward next 100 years

市場の変革を捉え、持続的な成長を目指す

次世代を担う製品の開発と半導体市場拡大に備え、2020年に 新・三田工場が竣工し、さらなる企業価値の向上を目指して事 業・組織の変革を続け、新素材・技術の開発に力を入れています。

- 2022 東京証券取引所プライム市場に移行
- 株式会社タンケンシールセーコウをグループ会社化 福知山事業所第2工場竣工

三田工場イノベーションセンター竣工

2024 創業100周年 社名をPILLARに変更





新·三田工場竣工(2020年)

をグループ会社化

600



400

200

[売上高の推移]

[社会の出来事]

1980

1985 プラザ合意 1989 ベルリンの壁崩壊 1990

1991 バブル崩壊 ソ連崩壊

1993 欧州連合(EU)発足 1999 ユーロ誕生

2000

2005 京都議定書発効

2011 東日本大震災 2016 パリ協定発効

2010

2020 英国·EU離脱 新型コロナウイルス感染拡大 2021 東京オリンピック・パラリンピック開催 2020

2023 2024 2025 (年度)

2022 ロシア軍、ウクライナ侵攻 2023 パレスチナ・イスラエル紛争勃発

2024 能登半島地震発生

5 PILLAR Integrated report 2024